



まったく
新しい作用性で、
やっかいな害虫も
見逃さない！

モベント[®]X
フロアブル



新しい効き目で、行き場なし。

詳しい
製品情報は
こちらから



難防除害虫に安定した効果

幅広い吸汁性害虫に有効

優れた浸透移行性と長期の残効性

1製剤で2つの使い方

適用病害虫と使用方法

2022年6月現在の登録内容

作物名	適用病害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	使用方法	使用回数*	
						本剤	スピロトラト
トマト ミニトマト	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類 トマトサビダニ	2,000	100~300ℓ/10a	前日*	散布	3回	3回
なす	うどんこ病	500	50mℓ/株	育苗期後半 ~定植当日	灌注	1回	
なす ピーマン とうがらし類	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類 チャノホコリダニ ハダニ類	2,000	100~300ℓ/10a	前日*	散布	3回	3回
きゅうり	アブラムシ類 コナジラミ類	500	50mℓ/株	育苗期後半 ~定植当日	灌注	1回	3回 (灌注は1回)
	アブラムシ類 コナジラミ類	2,000	100~300ℓ/10a	前日*	散布	3回	
ズッキーニ	アブラムシ類	2,000	100~300ℓ/10a	前日*	散布		
はくさい	アブラムシ類	4,000	100~300ℓ/10a				
キャベツ	アオムシ アザミウマ類 コナガ アブラムシ類	24	1.6~1.7ℓ/10a	無人航空機による散布	散布	7日*	3回
		32	1.7~2ℓ/10a				
		40	2~2.8ℓ/10a				
		50	2.8~3.5ℓ/10a				
		64	3.5~4.5ℓ/10a				
		80	4.5~5.5ℓ/10a				
		100	5.5~7ℓ/10a				
		125	7~8.5ℓ/10a				
		160	8.5~11ℓ/10a				
		200	11~14ℓ/10a				
		250	14~17ℓ/10a				
		320	17~20ℓ/10a				
ブロッコリー	アブラムシ類 アザミウマ類	24	1.6~1.7ℓ/10a	無人航空機による散布	散布	7日*	3回
		32	1.7~2ℓ/10a				
		40	2~2.8ℓ/10a				
		50	2.8~3.5ℓ/10a				
レタス	アブラムシ類 アザミウマ類	24	1.6~1.7ℓ/10a	無人航空機による散布	散布	7日*	3回
		32	1.7~2ℓ/10a				
		40	2~2.8ℓ/10a				
		50	2.8~3.5ℓ/10a				
非結球レタス	アブラムシ類 アザミウマ類	24	1.6~1.7ℓ/10a	無人航空機による散布	散布	14日*	3回
		32	1.7~2ℓ/10a				
		40	2~2.8ℓ/10a				
		50	2.8~3.5ℓ/10a				
		64	3.5~4.5ℓ/10a				
		80	4.5~5.5ℓ/10a				
		100	5.5~7ℓ/10a				
		125	7~8.5ℓ/10a				
		160	8.5~11ℓ/10a				
		200	11~14ℓ/10a				
		250	14~17ℓ/10a				
		320	17~20ℓ/10a				
ほうれんそう	アブラムシ類	2,000	100~300ℓ/10a		散布		
しそ	アザミウマ類	2,000					

作物名	適用病害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	使用方法	使用回数*	
						本剤	スピロトラト
アスパラガス	コナジラミ類 ハダニ類	2,000	100~300ℓ/10a	前日*	散布		
未成熟そらまめ	アザミウマ類						
ばれいしよ	アブラムシ類	64	1.6~3ℓ/10a	7日*	無人航空機による散布	3回	3回
		100	3~5ℓ/10a				
		160	5~8ℓ/10a				
		200	8~10ℓ/10a				
		250	10~12ℓ/10a				
てんさい	アブラムシ類	320	12~16ℓ/10a	14日*	無人航空機による散布	3回	3回
		400	16~20ℓ/10a				
		2,000~4,000	100~300ℓ/10a				
		4,000	100~300ℓ/10a				
メロン すいか	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類 ハダニ類	2,000	100~300ℓ/10a	前日*	散布		3回 (灌注は1回)
		500	50mℓ/株	育苗期後半 ~定植当日	灌注	1回	
		25~50mℓ/株					
かぼちゃ	アブラムシ類 コナジラミ類 ハダニ類	24	1.6~3.6ℓ/10a	7日*	無人航空機による散布	3回	3回
		50	3.6~7.5ℓ/10a				
		100	7.5~15ℓ/10a				
いちご	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類 ハダニ類	2,000	100~300ℓ/10a	前日*	散布		3回 (灌注は1回)
		500	50mℓ/株	育苗期後半 ~定植当日	灌注	1回	
		25~50mℓ/株					
		250	25mℓ/株				
なし	ニセナシサビダニ アブラムシ類 カイガラムシ類 ハダニ類	2,000	200~700ℓ/10a	14日*	散布		
りんご	リンゴサビダニ リンゴワタムシ						
かんきつ	アブラムシ類 カイガラムシ類 ミカンサビダニ アザミウマ類 チャノホコリダニ	32	4~6ℓ/10a	7日*	無人航空機による散布	3回	3回
		40	6~8ℓ/10a				
		50	8~10ℓ/10a				
		80	10~15ℓ/10a				
		100	15~20ℓ/10a				
		160	20~30ℓ/10a				
		250	30~40ℓ/10a				
320	40~50ℓ/10a						
かき	アブラムシ類 アザミウマ類 カイガラムシ類	2,000	200~700ℓ/10a		散布		
ぶどう	ハダニ類 ブドウサビダニ						
もも ネクタリン 小粒核果類	アブラムシ類 ハダニ類 カイガラムシ類	2,000	200~700ℓ/10a		散布		
おうとう	ハダニ類						
びわ	ビワキジラミ			21日*			
オリーブ	カイガラムシ類			7日*		2回	2回
オリーブ(葉)				90日*			
みょうが(花穂) みょうが(莖葉)	アブラムシ類			前日*	▲	3回	3回
にんにく	チュウリップ サビダニ	4,000	100~300ℓ/10a	※1	散布	2回	2回
チュウリップ				※2			

▲：散布、ただし花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用して下さい。
※1：みょうが(花穂)の収穫前日まで、ただし、花穂を収穫しない場合にあつては開花期終了まで。
※2：摘花後~球根掘り前まで。
*印は収穫物への残留回数のため、その日まで使用できる収穫前日数と本剤およびその有効成分を含む農業の総使用回数制限を示します。

注意事項

- 使用前によく振ってから使用して下さい。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守って下さい。
1) 散布は散布機種の散布基準に従って実施して下さい。
2) 散布に当っては散布機種に適合した散布装置を使用して下さい。
3) 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行って下さい。
- 軟弱徒長苗や極端にステーションの若い苗(セル苗、プラグ苗)に灌注や株元灌注すると薬害を生じるおそれがあるので、本剤の使用はさけて下さい。きゅうりに株元灌注する場合には、薬液が新芽にかかることと縮葉等の薬害を生じる場合があるので、かからないように処理して下さい。
- なすにおける機能性展着剤との混用は、混用する機能性展着剤によって薬害を生じるおそれがあるので、事前に確認してから使用して下さい。
- はくさいに使用する場合には、曇天および夕刻等の散布後に葉面上の薬液が乾きにくい条件で薬害を生じるおそれがあるので注意して下さい。
- ぶどうに使用する場合、品種「瀬戸ジャイアント」では新葉に褐変を生じることがあるので注意して下さい。
- やなぎに対しては薬害を生じるおそれがあるので、付近にある場合はかからないように注意して下さい。
- 最高分げり期から出穂開花期の稲に本剤がかかると不稔などの薬害を生じる場合があるので、かからないように注意して下さい。
- ミツ(チ)は、灌注処理後および散布翌日放飼が可能です。
- 本剤はマルハナバチに影響があるので、本剤を使用する場合には他の方法で受粉作業(人工授粉、植物ホルモンなど)を行って下さい。
- いちごでチリカブリダニおよびミヤコカブリダニを使用する栽培場面では、灌注、散布いずれも、チリカブリダニは処理後35日以上、ミヤコカブリダニは処理後30~35日程度の間隔を置いて放飼して下さい。
- スルスキーカブリダニを使用する栽培場面では、灌注、散布いずれも処理後、20~30日程度間隔を置いて放飼して下さい。
- 薬に対して長期毒性があるので、周辺の農薬にからまないようにして下さい。
- 本剤の同一圃場での連続散布はさけ、作用性の異なる薬剤とのローテーション散布を行って下さい。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用して下さい。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 本剤使用の際は農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするるとともに衣服を交換して下さい。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意して下さい。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意して下さい。眼に入った場合には直ちに水洗して下さい。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 <https://crops.cscience.bayer.jp/>

お客様相談室 ☎0120-575-078 9:00~12:00, 13:00~17:00
土日祝日および会社休日を除く

F-1053.22.06.TA